

新年のごあいさつ

# 地域共生社会の実現に向けて

社会福祉法人

岩手県社会福祉協議会 会長 長山 洋

新年おめでとうございます。

皆様には、健やかに新年を迎えたことと存じます。心よりお慶び申し上げます。

さて、東日本大震災津波から7度目の新年を迎えました。災害公営住宅の約9割が完成し、新たな住宅における自治会の結成などが進み、少しずつ以前の生活に戻りつつあるなか、依然として応急仮設住宅での暮らしを余儀なくされている方々もおられます。

また、一昨年は台風10号の来襲により、宮古市、久慈市、岩泉町などに人的・住家・田畠など甚大な被害がもたらされました。今なお再建に苦しむ方も多く、誠に心が痛みます。

被災された方々が、生活環境の変化がもとで孤立を深めることがあるよう、公的なサポートの継続とともに、住民が支え合う地域づくりに、一層努めていく必要があります。私たち福祉に関わる者は、災害などの困難な状況に直面すればするほど、人と人との「つながり」と「支え合い」を信じ、そして大

切にし、笑顔溢れる地域共生社会の実現のために協力し合っていきたいと考えております。

国においては、少子高齢化に即応した様々な制度改革が進められるなか、社会福祉法人制度改革が実施され、「一億総活躍社会」を実現すべく、新たな経済社会システムの構築に向けた政策が展開されていますが、地域社会に目を向けていますと、「制度の狭間」や「社会的孤立」「生活困窮」の課題が、依然として残っております。この複雑で、しかも見えにくい課題に取り組むためには、行政はもとより、社会福祉関係者、民生委員・児童委員、NPO、ボランティア、そして地域住民の力を高めていく必要があります。

このような状況を踏まえ、行政をはじめ、関係機関・団体の皆様とともに、豊かな福祉社会の実現に向け、今日的な生活課題の解決に立ち向かっていきたいと考えております。

## 全国社会福祉大会開催



平成29年度全国社会福祉大会が

11月22日にメルパルクホール（東京都）で開催され、岩手県から38名8団体（厚生労働大臣表彰

名6団体、全国社会福祉協議会会長表彰19名1団体、中央共同募金

会会長表彰2名1団体）が表彰さ

れました。

式典後、「住み慣れた地域で人生の最後まで過ごせる社会を目指して～ホスピスから学ぶいのちの授業～」と題し、めぐみ在宅クリニック院長 小澤竹俊氏の記念講演が行われました。